

人事委員会議事録（第1641回）

1 開催日時

令和2年9月1日（火）15：00～15：50

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員	松田直人	委員長
	鈴木尉久	委員
	長尾真	委員
事務局職員	西村嘉浩	事務局長
	森本剛史	任用課長
	古川卓哉	給与課長
	岡野揮代美	任用課副課長兼総務審査班長
	小倉豊道	給与課副課長

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1640回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

資格免許職採用試験最終合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表日（9月4日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

保健師（一般）は、最終面接受験者の全員が合格となっている。保健師は、職種としてあまり人気がないのか。

（事務局）

採用数が一昨年度以降増えていることもあり競争率は低くなっている。

新型コロナ対応で、今年度は神戸市も採用数を増やしたことも一因と考えられる。

（委員）

保健師は、直接コロナ対応する職場へも配置されるのか。

（事務局）

保健師は健康福祉事務所に配属されることが多く、コロナ対応の相談業務等に従事している。

(委員)

各職種の給与水準は民間企業と比較すると低いのか。給与勧告とどう関係するのか。

(委員)

理学療法士等、病院で勤務する職種も事務職と同じ行政職給料表が適用される。業務内容によっては手当が支給されるのだろうが、民間業界との均衡はあまり考えられていないのではないか。

(事務局)

行政職の初任給は民間企業との比較だけではなく、国や他の地方公共団体との均衡も考慮して決定している。手当制度も国や他府県との均衡を考慮している。

(委員)

獣医師についてはどうだったか。

(事務局)

獣医師も同様に行政職給料表が適用されるが、昨年まで本県は全国で下位に位置していた。このため、本年4月から初任給調整手当を支給することとし、初任給調整手当込みで他府県並みの給与水準となっている。

(委員)

資格免許職の給与水準については、そういった形の調整しかないのか。

(事務局)

初任給は大卒でいくらと定めており、特定の職種についてのみ初任給を引き上げるという対応は難しい。

第3号議案

採用選考試験（第1回）最終合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表日（9月4日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

(委員)

海技職（警察本部）の筆記試験はどのような問題が出題されるのか。

(事務局)

船用機関や操船、海事法令等に関する問題を出題している。

(委員)

海技職（警察本部）の面接試験員には警察本部の職員も入るのか。

(事務局)

人事委員会事務局のほか、警察本部の職員2名が面接を行う。

第4号議案

経験者採用試験実施要綱決定の件

任用課長が標記要綱（案）を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

(委員)

いくつかの職種で年齢区分（A区分（30才～34才）、B区分（25才～29才））をなくして、1つの区分（25才～34才）にした理由は。

(事務局)

昨年度の機械職（A区分、B区分各1名を採用予定）を例にとると、申込者はA区分は7名だが、B区分は1名であった。仮にB区分が合格者なしの場合、次年度以降の職員配置に支障が生じるため、人員確保の観点から柔軟に対応できるよう区分をまとめることとした。

事務系は、例年申込者数も多く問題ないと考えている。

(委員)

定員割れの可能性のある職種は区分を統合した、ということか。

(委員)

34歳で入庁した場合の初任給は、30歳の給料と同額になるのか。4歳分の年齢差を挽回できるくらいにすぐ昇給するのか。

(事務局)

34歳で入庁した場合の初任給は30歳の場合とは異なり、30歳以降の経歴分が加算される。試験案内に、経歴に応じて加算される場合があると記載してあるのはそういう趣旨である。

(委員)

東京会場の受験者は多いのか。

(事務局)

昨年度は東京会場での受験者が42人で、全受験者の9.8%であった。うち最終合格者は10名（13.7%）、一般事務職で8名（16.3%）だった。

(委員)

総合土木職はA B区分をまとめて4人募集するのに対して、教育事務職はA B区分を分けて3人の募集だが、合格者は確保できるのか。

(事務局)

昨年度、教育事務職はA区分27名、B区分18名の受験があった。

閉 会